

## 高度の医療の提供の実績

### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
神経変性疾患の遺伝子診断	6人
重粒子線治療	496人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	0人
マントル細胞リンパ腫の遺伝子検査	2人
RET遺伝子診断	4人
IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測評価	0人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記載。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、H26年度の年間実患者数を記載。

### 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法	1人
上皮性卵巣がん・卵管がん・原発性腹膜がんに対するパクリタキセル毎週静脈内投与併用カルボプラチン3週毎腹腔内投与	0人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法	0人
インターフェロン $\alpha$ 皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法	0人
S-1内服投与、オキサリプラチン静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法	1人
パクリタキセル腹腔内反復投与療法 胃切除後の進行性胃がん	0人
ラジオ波焼灼システムを用いた腹膜鏡下肝切除術	0人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記載。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、H26年度の年間実患者数を記載。

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	PNPLA3の遺伝子診断による非アルコール性脂肪性肝炎発症の予測評価	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 PNPLA3の遺伝子多型を測定することにより、非アルコール性脂肪性肝炎の発症・疾患重症度(炎症, 肝線維化の程度)を予測する。			
医療技術名	CYP2C19の遺伝子多型測定	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 ピロリ菌除菌前の治療効果判定でPPIの代謝に関与するCYP2C19の遺伝子多型を測定し治療効果を予測する。			
医療技術名	ITPAの遺伝子多型測定	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 C型慢性肝炎のIFN治療効果予測としてのリバビリン貧血規定遺伝子ITPAの遺伝子多型を測定し治療効果を予測する。			
医療技術名	IRRDRの変異を測定	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 C型慢性肝炎のIFN治療効果予測としてのウイルス遺伝子変異IRRDRの変異を測定し治療効果を予測する。			
医療技術名	肝悪性腫瘍に対する経皮的凍結治療	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 肝細胞癌、転移性肺癌などの肝悪性腫瘍に対し、画像誘導下に経皮的凍結治療を行う。			
医療技術名	有痛性骨軟部腫瘍に対する経皮的凍結治療	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 疼痛を有する転移性骨軟部腫瘍や類骨骨腫などに対し、画像誘導下に経皮的凍結治療を行う。			
医療技術名	I-131MIBGによる悪性神経内分泌腫瘍の核医学治療	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 悪性の神経内分泌腫瘍(褐色細胞腫、旁神経節腫瘍、交感神経節腫瘍、神経芽細胞腫などの神経提由来の腫瘍群)を対象として、I-131MIBG Metaiodoenzylguanidine(MIBG)による核医学治療を行う。			
医療技術名	強皮症に伴うレイノー現象に対するボツリヌス毒素局所注入療法	取扱患者数	56人
当該医療技術の概要 強皮症に伴うレイノー現象に対して、ボツリヌス毒素を局所注入する治療法。			
医療技術名	新生児脳低温療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 新生児低酸素性虚血性症脳症へ全身管理しながら脳低温療法を行う。			
医療技術名	新生児一酸化窒素吸入療法	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 新生児遷延性肺高血圧症に対して一酸化窒素吸入療法を含めた全身管理を行う。			
医療技術名	食道pH・インピーダンス測定	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 胃食道逆流性診断のための検査。			
医療技術名	小児に対する上部・下部内視鏡検査	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要 危険性の高い乳幼児も対象とした、消化管の検査。			

医療技術名	小児に対する肝生検	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 増井を含め、合併性危険の高い乳幼児も対象とした生検。			
医療技術名	脳症に対する脳低温療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 小児脳症患者へ全身管理しながら脳低温療法を行う。			

#### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	98人	・膿疱性乾癬	11人
・多発性硬化症	121人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・重症筋無力症	148人	・原発性胆汁性肝硬変	18人
・全身性エリテマトーデス	353人	・重症急性膵炎	1人
・スモン	3人	・特発性大腿骨頭壊死症	75人
・再生不良性貧血	61人	・混合性結合組織病	37人
・サルコイドーシス	223人	・原発性免疫不全症候群	11人
・筋萎縮性側索硬化症	57人	・特発性間質性肺炎	20人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	377人	・網膜色素変性症	33人
・特発性血小板減少性紫斑病	98人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	55人	・肺動脈性肺高血圧症	10人
・潰瘍性大腸炎	189人	・神経線維腫症	20人
・大動脈炎症候群	42人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	42人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	66人	・慢性血栓栓性肺高血圧症	1人
・脊髄小脳変性症	74人	・ライソゾーム病	3人
・クローン病	110人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	14人	・脊髄性筋萎縮症	4人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	229人	・球脊髄性筋萎縮症	9人
・アミロイドーシス	9人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	17人
・後縦靭帯骨化症	47人	・肥大型心筋症	8人
・ハンチントン病	4人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	66人	・ミトコンドリア病	7人
・ウェゲナー肉芽腫症	23人	・リンパ管筋腫症(LAM)	9人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	56人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	22人	・黄色靭帯骨化症	3人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	6人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	198人

(注) 「取扱患者数」欄には、H26年度の年間実患者数を記載。

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

平成27年10月1日現在

・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・救急搬送患者地域連携紹介加算
・歯科外来診療環境体制加算	・呼吸ケアチーム加算
・歯科診療特別対応連携加算	・病棟薬剤業務実施加算
・特定機能病院入院基本料	・データ提出加算
・臨床研修病院入院診療加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・救急医療管理加算	・特定集中治療室管理料
・超急性期脳卒中加算	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・妊産婦緊急搬送入院加算	・新生児特定集中治療室管理料2
・診療録管理体制加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・急性期看護補助体制加算	・一類感染症患者入院医療管理料
・看護補助加算	・小児入院医療管理料3
・療養環境加算	・短期滞在手術基本料1
・重症者等療養環境特別加算	・短期滞在手術基本料2
・無菌治療室管理加算	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算	・
・感染防止対策加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊婦管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・退院調整加算	・

・ウイルス疾患指導料	・認知療法・認知行動療法
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・高度難聴指導管理料	・医療保護入院等診療料
・喘息治療管理料	・透析液水質確保加算
・糖尿病合併症管理料	・一酸化窒素吸入療法
・がん性疼痛緩和指導管理料	・歯科技工加算
・がん患者指導管理料	・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)
・外来緩和ケア管理料	・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・移植後患者指導管理料	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・糖尿病透析予防指導管理料	・羊膜移植術
・外来リハビリテーション診療料	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・外来放射線照射診療料	・網膜再建術
・ニコチン依存症管理料	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・地域連携診療計画管理料	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・がん治療連携計画策定料	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・認知症専門診断管理料	・乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2
・肝炎インターフェロン治療計画料	・経皮的冠動脈形成術
・薬剤管理指導料	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・医療機器安全管理料1	・経皮的冠動脈ステント留置術
・医療機器安全管理料2	・経皮的中隔心筋焼灼術
・医療機器安全管理料(歯科)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・歯科治療総合医療管理料	・植込型心電図記録計移植術及び植込術心電図記録計摘出術
・在宅患者歯科治療総合医療管理料	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・持続血糖測定器加算	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)
・造血器腫瘍遺伝子検査	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・検体検査管理加算(Ⅰ)	・経皮的大動脈遮断術

・検体検査管理加算(Ⅲ)	・ダメージコントロール手術
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・腹腔鏡下肝切除術
・遺伝カウンセリング加算	・生体部分肝移植術
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・植込型心電図検査	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・時間内歩行試験	・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
・胎児心エコー法	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・ヘッドアップティルト試験	・同種死体腎移植術
・人工膵臓	・生体腎移植術
・皮下連続式グルコース測定	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
・長期継続頭蓋内脳波検査	・輸血管理料Ⅰ
・光トポグラフィー	・輸血適正使用加算
・神経学的検査	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・補聴器適合検査	・内視鏡手術用支援機器加算
・コンタクトレンズ検査料1	・歯周組織再生誘導手術
・小児食物アレルギー負荷検査	・広範囲顎骨支持型装置埋込手術
・内服・点滴誘発試験	・麻酔管理料(Ⅰ)
・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)	・麻酔管理料(Ⅱ)
・画像診断管理加算2	・放射線治療専任加算
・ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影、ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影又は乳房用ポジトロン断層撮影	・外来放射線治療加算
・CT撮影及びMRI撮影	・高エネルギー放射線治療
・冠動脈CT撮影加算	・1回線量増加加算
・心臓MRI撮影加算	・強度変調放射線治療(IMRT)
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・外来化学療法加算1	・体外照射呼吸性移動対策加算
・無菌製剤処理料	・定位放射線治療
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・定位放射線治療呼吸移動対策加算
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・病理診断管理加算
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・口腔病理診断管理加算
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・クラウン・ブリッジ維持管理料

## 7 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	15 回 / 月
剖 検 の 状 況	剖検症例数      27 例      /      剖検率                      8.71%

(注) H26年度の年間実績を記載。